



〈演奏曲目〉  
 ファーマー：ホーム・スイート・ホーム(埴生の宿)  
 サラサーテ：チゴイネルワイゼン  
 フランク：ソナタ  
 ボルムベスク：望郷のバラード 他

- 開演中の客席へのご入場を制限いたします。お早めにご来場ください。
- 一度購入されたチケットの払い戻しはできません。
- 未就学児のご入場はお断りしております。就学児(小学校1年)より有料となり、チケットが必要となります。



## GEITAN presents The Great Artists

日頃体感する機会の少ない一流芸術家によるパフォーマンスを、芸短大から皆様へお贈りします。

# 天満敦子ヴァイオリンリサイタル

12/1(月) 18:00 開場 18:30 開演  
 iichiko音の泉ホール 入場料 1,000円(前売り、当日共に)

お問い合わせ・お申し込みは 芸短大 広報室 TEL:097-545-0542まで

### ■天満敦子 Profile

東京都出身。6歳よりヴァイオリンをはじめ、小学校時代、NHK・TV「ヴァイオリンのおけいこ」に出演。講師の故江藤俊哉氏に資質を認められて音楽家への道を志した東京藝術大学在学中に日本音楽コンクール第1位、ロン・ティボー国際コンクール特別銀賞等を受賞して注目を浴びる。海野義雄、故レオニード・コーガン、ヘルマン・クレツパースらに師事。1992年「文化使節」として訪れたルーマニアで、「ダヴィッド・オイストラフ以来の感激」(同国文化大臣)と高い評価を受け、公演は空前の成功を収めた。翌年この訪問が縁で巡り会った同国の「薄幸の天才作曲家」ボルムベスクの「望郷のバラード」を日本に紹介、以後この作品は天満敦子の代名詞とさえ言えるほどのクラシック界異例の大ヒット曲となった。使用のヴァイオリンはアントニオ・ストラディヴァリウス晩年の名作。弓は伝説の巨匠ウージェーヌ・イザイ遺愛の名弓。

### ■吉武雅子(ピアノ) Profile

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、同大学同学部器楽科卒業。藝大在学中より、恩師 田村 宏氏の推薦によりヴァイオリニスト天満敦子氏の共演者として活発な演奏活動を始め、共演歴は20年に及ぶ。天満敦子のCD「Ba l a d a」『愛のあいざつ』(いずれもキングレコード)では天満の共演者として名コンビぶりを発揮している。またプラハ室内管弦楽団のソリストとして迎えられするなど独奏活動も行い、9月26日にはソロCD「愛の夢」(キングレコード)をリリースされる。NHK-FM、テレビ出演など幅広い活動の他、コンクールの審査、洗足学園音楽大学准教授、東邦音楽大学講師として後進の指導にも力を注いでいる。

# 佐藤美枝子客員教授 特別公開レッスン

12/4(木) 14:30 開場 15:00 開演  
 iichiko音の泉ホール 入場無料

お問い合わせ 音楽科 TEL:097-545-8758まで

本学客員教授、昭和59年3月芸短大附属緑丘高校卒。大分県が生んだ世界の歌姫・佐藤美枝子さん(ソプラノ)が、声楽家を目指す若い学生たちを直接指導します。



武蔵野音楽大学卒。1998年、第11回チャイコフスキー国際コンクール声楽部門で日本人初の第1位を獲得した。95年ローマにて「リゴレット」のジルダでデビュー後、「ルチア」のタイトルロール、「椿姫」のヴィオレッタ、「魔笛」の夜の女王などで活躍し、リサイタル活動も活発に行っている。

県立芸術短期大学附属緑丘高校、武蔵野音楽大学と声楽を続け、大学卒業後はイタリアに留学されたんですね。その時は、ご両親の反対などはなかったのですか？

(佐藤)父の方がもともと声楽をすること自体に反対でしたので、イタリアへ行くことは初めは許してもらえませんでした。大学卒業後に師事した先生が、本場の空気に触れ、音楽を体で感じることの大切さを両親に説いてくださり、やっと許してもらいました。  
 (大分県庁広報誌「NEO QITA」1999年10月号から)

# 第44回 定期演奏会

10/13(月・祝) 18:00 開場 18:30 開演  
 iichikoグランシアタ 入場無料 要整理券

整理券はiichiko総合文化センター、カワイ大分ショップ、ミュージックストアナガトでお求めになるか、音楽科別手室(097-545-8758)でご予約ください。

音楽科学生・教員が総力を挙げて臨む定期演奏会、今回は名指揮者・堤俊作氏を迎え、前半にチャイコフスキー不朽の名作「白鳥の湖」、後半はヨハン・シュトラウス、ワーグナー、ヴェルディの名作オペラ抜粋を演奏する。バレエ音楽を隔々まで知り尽くす堤氏の「白鳥の湖」はもちろんのこと、学生ソリスト・合唱団・オーケストラの若き力がオペラの巨人達にどう対峙するか、興味は尽きない。

### ■堤俊作 Profile



東京交響楽団正指揮者を経て、東京シテフィリを設立。ルパート指揮者コンクールに入賞、ジュネーブ国際音楽コンクールで最高位。ルクセンブルグ室内オーケストラ、イタリア・サンレモ交響楽団への客演指揮も行い、各地で賞賛を浴びる。ロイヤルチエンバーオーケストラ、及びロイヤルメトロポリタン管弦楽団音楽監督、梓室内管弦楽団音楽監督、静岡交響楽団音楽監督、桐朋学園大学講師を務める。



# 新釈ミュージカル「ロミオとジュリエット」芸短バージョン

12/3(水) 18:00 開場 18:30 開演  
 iichiko音の泉ホール 入場無料

美術・音楽・国際文化・情報コミュニケーションの4学科に加え、専攻科の学生も含めた有志250名がシェイクスピアに挑みます。昨年の「嵐が丘」に続く第2弾。クラシックからポップスまで全編を飾る20曲の歌唱に加え、出演、演出、振り付け、美術、衣装、照明、広報、宣伝という全てを学生が担当し、2時間のミュージカルに仕上げました。それぞれの学科の特性を組み合わせた舞台をお楽しみ下さい。

# music

## 芸短コンサートシリーズ No.39 「若さあふれるコンサート」

10/21(火) 18:00 開場 18:30 開演  
 iichiko音の泉ホール 入場無料  
 前期実技試験成績優秀選抜者による独唱、独奏

## 芸短コンサートシリーズ No.40 「若さあふれるコンサート」

11/19(水) 18:00 開場 18:30 開演  
 iichiko音の泉ホール 入場無料  
 前期実技試験成績優秀者・学内オーディション選抜者による独唱、独奏、アンサンブル

## 小林 道夫 客員教授 特別公開レッスン

11/20(木) 13:00~  
 本学 音楽科小ホール 入場無料 一般聴講定員20名  
 お問い合わせ・お申し込みは 音楽科 TEL:097-545-8758まで

「バロック声楽曲とドイツ歌曲を中心とした声楽曲の解釈と演奏について」小林客員教授は日本におけるこの分野の重鎮であり、海外の著名な演奏家との共演も多数。多彩な経験に基づき、東京藝術大学等で教鞭を執られていたが、本年より本学の客員教授に就任。



# art

## ワークショップ 色紙の配置による「カレイドスコープ」

10/19(日) 10:00~  
 iichikoアトリウムプラザ 参加無料・自由参加



数千枚の色紙を、自然光の降り注ぐアトリウムプラザの床に配置して、様々なインスタレーション作品を、学生および当日一般参加者の方々とともに制作します。作品は、完成後に撤去します。

## 美術科造形専攻作品展

12/9(火)~12/23(火・祝)  
 10:00~18:00(最終日16:00)  
 アートプラザ2F アートホール

## 美術科作品展「apartment」

12/9(火)~12/23(火・祝)  
 10:00~18:00(最終日16:00)  
 アートプラザ1F ギャラリーB

# intercultural

## 公開講座「うすき南蛮ゼミナール」

10/4・11(土) 13:00~16:00  
 サラ・デ・うすき まちなな交流館ホール(臼杵市・八町大路) 入場無料

お問い合わせ 国際文化学科 TEL:097-545-4525まで

- |                 |  |
|-----------------|--|
| 第1回<br>10/4(土)  | 「スペイン船サンタ・アナ号記念碑の由来」<br>講師：濱田英俊(BUNGO-大分日本エス・パニヤ協会会長)<br>「久家の大蔵とホルトガルーアスレージョがつなく世界」<br>講師：嶋谷憲洋(大分県立芸術文化短期大学准教授)  |
| 第2回<br>10/11(土) | 「ヨーロッパ人が描いたザビエル」<br>講師：高瀬圭子(大分県立芸術文化短期大学准教授)<br>「豊後に流れたスペイン音楽」<br>講師：小川伊作(大分県立芸術文化短期大学准教授、BUNGO-大分日本エス・パニヤ協会事務局) |

## 国際理解公開ワークショップ「世界の入り口に立とう！-世界がもし1つの村だったら？」

10/19(日) 14:00~ iichikoアトリウムプラザ  
 参加無料(対象：中学生~高校生、および大学生、一般人の初体験者)  
 ベストセラーとなった「世界がもし100人の村だったら」(池田番代子再話、マガジンハウス刊)を題材に、「世界」を体で感じるワークショップを行います。人口60億を超える世界を100人の村にみたくて、その一村民としてワークショップに参加し「世界」をもっと身近に考えてみましょう。

## 国際理解公開講演会「中国四川省大地震、緊急援助隊活動レポート」

11/7(金) 14:40~ 本学大講義室 入場無料  
 5月に中国四川省を襲った大地震に対し、日本の緊急援助隊員として現地地で活動した佐藤仁氏(国際協力機構<JICA>緊急援助隊事務局)が現地の様子を報告します。



### 日韓ホンネdeトーク

## 「次世代への伝言/日韓の市民・文化交流をどう進めるか」

11/14(金) 13:00~15:00  
 本学大講義室 入場無料

お問い合わせ 情報コミュニケーション学科教授 下川正晴(携帯090-9796-1720)

「日韓次世代交流映画祭」関連企画。パネラー=鄭宗宗(東亜日報元編集局長)、黒田勝弘(産経新聞ソウル支局長)=写真左、鄭在貞(ソウル市立大学人文学部長)=写真中、麻生栄作(大分臨海ロータリークラブ会長)=写真右、是永幹夫(秋田「わらび座」代表、大分市出身)ほか。司会・下川正晴(芸短大教授)。



### イタリア映画と愉快的対談

12/6(土) 13:00~16:00  
 アートプラザ研修室 入場無料

映画上映とヤンノッティ・ルイジ氏(本学イタリア語講師) & 奥さまパトリシア・スカルノネさんの「家庭教育」をめぐる夫婦対談



## 第3回おおい情報発信フォーラム「ニュース検証-北京五輪後の中国」

11/22(土) 13:30~15:00  
 アートプラザ研修室 入場無料  
 講師は浦松文二・毎日新聞北京特派員。



## 学内写真展「GEITANを撮る」

11/20(木)~12/20(土) 本学人文棟1階ロビー  
 本学学生が撮影した芸短大キャンパスの人間模様と風景。10月1日から31日まで写真(A3サイズ、カラーコピー)、を全学学生から募集。審査のうえ、学長賞、情報コミュニケーション学科賞、奨励賞などを授賞する。